

小笠原村について

小笠原諸島の歴史は、1830 年に欧米系島民が定住したことから始まります。その後、江戸幕府による調査・巡検、明治政府による再開拓を経て、1876（明治9）年に日本の領有が国際的に確定しました。

明治以降、先に定住していた欧米系島民と本土からの移住者が、共に地域社会を形成して発展してきた独自の歴史を持つ島です。

昭和19年には人口約7,000人を数えるに至りましたが、その隆盛とユニークなコミュニティは、太平洋戦争の激化に伴い全島民の強制疎開によって途切れてしまいます。



明治頃の結婚式 欧米系と日系の島民が確認できる

終戦後は、米国による統治が行なわれ、昭和21年には欧米系島民のみの帰島が許されましたが、他の島民の帰島の願いは叶えられませんでした。そして、強制疎開から24年後の1968（昭和43）年6月26日に日本復帰を果たしました。



特別天然記念物 ハバジマメグロ

それから52年、今では世界自然遺産に登録された貴重な自然と特異な歴史・文化が織りなす独特な地域社会に魅せられて、国内外から多くの人々が訪れています。そして、多くの若い世代が移り住み、村を支える人材として活躍しています。

自然豊かな若い活気のある島で、未来の島づくり 人づくりに貢献したい！ という意欲ある先生方をお待ちしています。

【学校別児童・生徒数】

令和2年5月現在

	学校名	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計
父島	小笠原小学校	23	20	25	30	25	27	150
	小笠原中学校	31	19	17				67
母島	母島小学校	6	6	3	4	7	5	31
	母島中学校	3	6	1				10



海で遊ぶ島の子供たち